平成 26(2014)年 9 月　日

清流のシンボル・ミシマバイカモを救え！
「三島梅花藻の里・湧水地」の保全・買収を求める署名運動

本年、「三島梅花藻の里」の水源である湧水地を含む、ＰＬ三島教会跡地が、富士市の不動産会社により買収され、現在、宅地造成工事が進められています。

「水の都・三島」の清流のシンボルであるミシマバイカモは、昭和 39(1964)年頃から湧水の減少と水質の悪化により、市内の川から姿を消してしまいました。そこで、ふるさとの宝物で静岡県の絶滅危惧種でもある、この貴重な水中花を復元、育成すべく、グラウンドワーク三島や三島ゆうすい会が中心となり、平成 7(1995)年に(公財)佐野美術館所有の湧水地を借り、「三島梅花藻の里」として、園内路や植栽、デッキ、橋の整備を行い、日々の維持管理も進めてきました。

現在では、途絶えることのない湧水の供給により、環境のバロメーターでもあるミシマバイカモが安定的に成長・増殖することができ、源兵衛川に移植することによって、１年中、白く可憐な花々が水中に咲き乱れる水辺環境が復活し、観光スポットにもなっています。

しかし、この度の宅地開発をこのまま放置していては、貴重な湧水地が破壊・埋め立てられ宅地として売却されてしまいます。最終的には「三島梅花藻の里」への湧水・水源が途絶え、清流のシンボルであるミシマバイカモが「消滅」してしまいます。

そこで、私たちは、「三島梅花藻の里・湧水地」を未来永劫に守るために、
ＮＰＯ法人グラウンドワーク三島や三島市などに対して、
この湧水地を保全・買収していただくように要望し署名いたします。

主　催：ＮＰＯ法人グラウンドワーク三島
（事務局：静岡県三島市芝本町 7 番 11 号）
協　力：三島市南本町高台町内会

＊上記趣旨に賛同して署名いたします。

氏　名	住　所	署名年月日		
		年	月	日
		平成		